



若者・高校生検討部会 実現に向け動き出す!!

くずまき観光地域づくり協議会(くずまき型DMO)の第3回若者・高校生検討部会は2月28日、総合センターで開催され岩手大学の学生らを含む29人が出席しました。

今回は、これまでの取り組みのまとめと今後実践していく事業を絞り込み、各班に分かれて取り組みの具体案を話し合いました。参加した生徒らは「実現させるためには、複数の問題をクリアしなければならない」「自分たちの案を実現できるのがうれしい」「事業をより良いものにしたい」と企画成功に意欲を見せていました。

実践的な取り組み実現のため、アイデアを書き出しながら案をまとめていく参加者たち



フェラリエワンス 牛飼い女子が研修会 飼料原料の学び深める

牛飼い女子サークル「フェラリエワンス」の研修会は2月24日、総合センターで開催され同メンバーら10人が出席しました。

始めに、村澤真澄代表は「意見を出し合い有意義な時間にしましょう」とあいさつし、牛飼いの魅力をさらに高めていきたいと思いますと呼び掛けました。研修は「飼料原料について」と題して、全国酪農協同組合連合会北東北事務所の高橋晋さんが牛のエサとなる飼料について説明。出席者らは、原料の主成分の違いや生乳の水分量との関係などを学び、積極的に質問していました。

飼料の違いなど実用的な説明に耳を傾ける参加者たち

元木地区ひなまつり 新作加えて鮮やかに

元木自治会婦人部と陽だまりの会が開催した「ひなまつり」は、2月27日と28日の2日間、元木生活改善センターで行われ、町内外から訪れた人たちににぎわいました。

会場には、つるし飾りのほか、新作の牛の人形飾り40頭がお出迎え。訪れた人たちの目を引いていました。元村トモ部長は「来年は開催10周年を迎えます。新たな仕掛けを考え、さらにたくさんの人に来てもらいたいです」と創作意欲をみなぎらせ、次の開催に向け思いを巡らせていました。



色とりどりのつるし飾りを楽しむ来場者の皆さんと新作の牛飾り(円内)

葛巻高校1年の舞原楓太さんが担当しました

葛巻小で3.11追悼集会 自分の命は自分で守る

葛巻小学校(佐藤隆司校長、児童108人)の「葛巻小いのちを守る日 3.11追悼集会」は3月11日、同校体育館で開催されました。

集会では、10年前に起きた東日本大震災の様子や6年生の担任で野田村出身の大沢良介先生の体験談を児童たちに伝えました。大沢先生は「自分の身を自分で守るために必要なことを考え、行動できるようになってほしい」と安全を願い、児童らは「避難準備や避難行動をする」「震災を知らない世代に伝えていくことが大切」と感想を話し、防災への意識を高めていました。



真剣な表情で東日本大震災の話に耳を傾ける児童たち

消防団が火災防御訓練 連携と迅速な動き強化

葛巻町消防団(橋本秀雄団長、団員284人)の火災防御訓練は3月7日、小屋瀬小学校とその周辺で実施されました。

小屋瀬小学校家庭科室からの出火を想定し、第1中隊(第1~5、9分団)が出動。団員らは連携のとれた実践的な防御訓練として、出火建物や水利状況に対応した中継送水訓練のほか、トランシーバーの運用訓練を行いました。

これからの季節は、空気が乾燥し火災が発生しやすくなります。山火事や火の取り扱いには、十分注意しましょう!



連携した迅速な動きで中継送水訓練を行う団員ら



華やかなひな壇飾りを眺める親子

まちなかひなまつり 道行く人の足を止め

商工会女性部と町婦人連絡協議会の「ひなまつり」は、3月1日から3日間、まちの駅近くの空き店舗で開催され、まちなかに彩りを添えました。

さまざまな年代のひな壇飾りやつるし飾りで華やかに彩られた会場には、親子連れなどが立ち寄り、一体一体の違いを楽しみ、ゆっくりと鑑賞していました。また、今回は感染症対策のため建物の外側からも楽しめるように飾り付けを工夫。ガラス越しに見えるひな飾りに道行く人たちは足を止め、ひと足早い春を感じていました。